東里山人作
勝川春扇画

成春あんえん
とくくさろいき
世元陽意記

全三さつ

泉市販

13
2378
197

遠13
2378
197

毛氣浮世 元陽意記

東里山人戯作
勝川春扇圖画
井泉堂梓行

橋場の百葉のもろいた

百葉見乃
もろ葉里
ゆ乃ちゆ
郭

の事

東畫
東里画讃

[illegible]

自序

[illegible]馬鹿の図ハ[illegible]優長[illegible]
作者[illegible]の口真ト門口ハ[illegible]偽[illegible]作[illegible]
[illegible]ハ[illegible]是ハ[illegible]
[illegible]日[illegible]芙[illegible]俳芙[illegible]
[illegible]嘘[illegible]筆の[illegible]
[illegible]門[illegible]相生[illegible]
[illegible]
[illegible]記[illegible]

雑歳文化十二年在甲戌正月
東里山人戯誌

[illegible]

○心意木

これハこゝろいきがかんじんなりゆへにくろうく
ともなふりとごとくのものをよく
人のすがたをふりとくゞみ扱なる
らうてなりくも忘れつれど
そこにてかんどのやくふちぶと
まがりてる心のきの
しるしあげて
かんじん
ぐとし

○きとまを
あいはじく木
○おれの
よの女ともつ木
○よいすりを
まる木
○あき縁をまる木
○人のうきとをまる木
これニまぶ心のこえぶり
まがりくる木なりつとも
べしとと

○ぶ意木

ぶいきといふ木ハさのもさ
そまつ咲ハどうるたきさ品も
まされバそちらゑかゆせずと
ゆか木ゆへもつうか桜ハ
人よくこれを
ぶいきといへど
こゝろいき
まつそくふとして
用ゐるとおもひ
さぐなる木の其名
あげてもぞくべし
○夫をぶいぶまる木
○こちが身をへりくだる木
○お家をかうく子まる木
○おびるね木
ゝ恋へしせうをまん木
家をけつ木なるが
ゆゑハ世の人かれの
大ゐ木としとてる
「かれのゆかくいはじめてかれ子さあく
けるつ子う中くゐびしのたとへあれバ
むし木わかものうんくとそうすいの

篤實兼のとくさいき

なげらいらくさいのこいき

聟さんのてがいき

嫁さんのてがいき

むすめのふいき

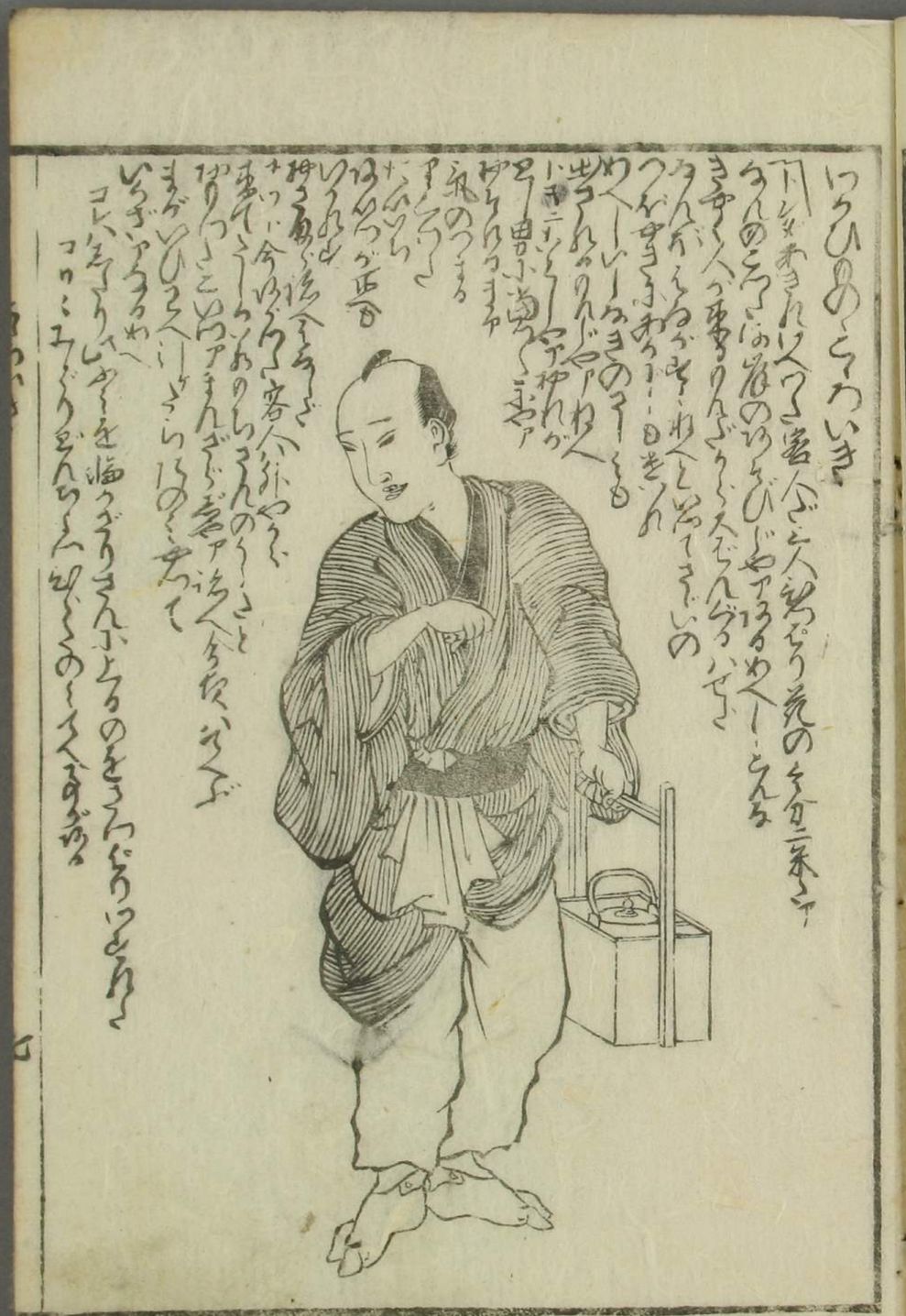
かってぜんむのこころいき

男〜のこうついき

「ヨヤくらのまふこうこん之料理茶やが出来まさりうりひきもめりそうふまんざわとりうアまだんいわぎアるるめくまやく内ふめうぢやうまうぢわるぜこうつアまんざらぢやア

紋

さてのこうさ有北がちゆれてくうこひきれてくうやうとうふ屋ごどうくうらりとしてきやがうちうさアえ色合ェもありさうるりんご今うら赤んまちのかうちがとけいうてきらてうべュるんごうてけるかんだんと出ーやアぐうるおきゆくのつらアうるとあうらうも赤紋さうるをむゆまるふ出さうとうふうちうご娘がおきゆくよりアたんと酒とのゆちョいうけの紋ヨットひうふぐうら赤ゆうとーまハヨーまゆくーあんおやっとうひ半ーこうのところの女ごあうつぢうだアさんゆあうこうメモウえうまもねへ今うぎやアどとうちうるゥゆづうひばゆとうまとくうひごうふひとしうこうちうこ



いうひのこうついき

下ェおきれけうて客ふご人ゑうぢう元のう分ニ茶ニアうんのこうは客のうをびじゆアうるゆくしーとうきゆくへうまりんぐうくへんでんぐうハでこうんがうるぐうきゆわくと出てきいのつぐゆまうわうー日きんゆくーしーうきのうくもゆ出うれゆのんじゆアわへ小ゆニてくうーアゆれがゆうとうまうまゆ元のつうるアくうくなんうらうが西ゆいうあゆゆうきうぢうくへ今ゆうのうう客へ糸ゆうくなりうくこゆアまんざうご客アうへ今ゆ、ゆくまぐいひうへーけうらうのくまうていうぢうやアうるゆ

コレ、ゆうりゆーを海うぢりさんぶとうるのをうこうぢうゆうぢうどんらうんゆくうのーくくうぢうゆ

中醫——のてういき

きんこりいのふいき

いちのきくえいこうのきき

子福者のてらいき

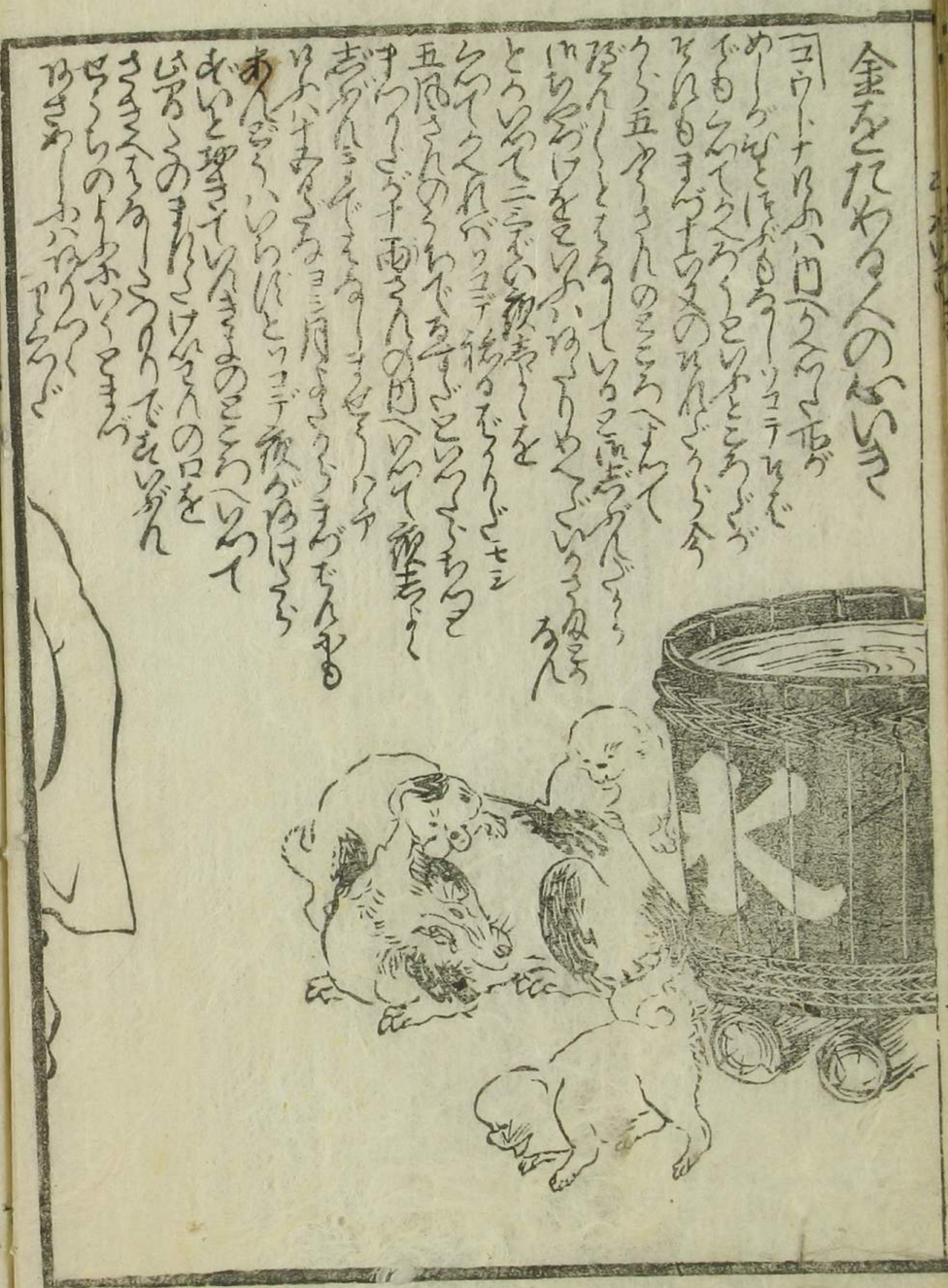
だんらのこうはいき

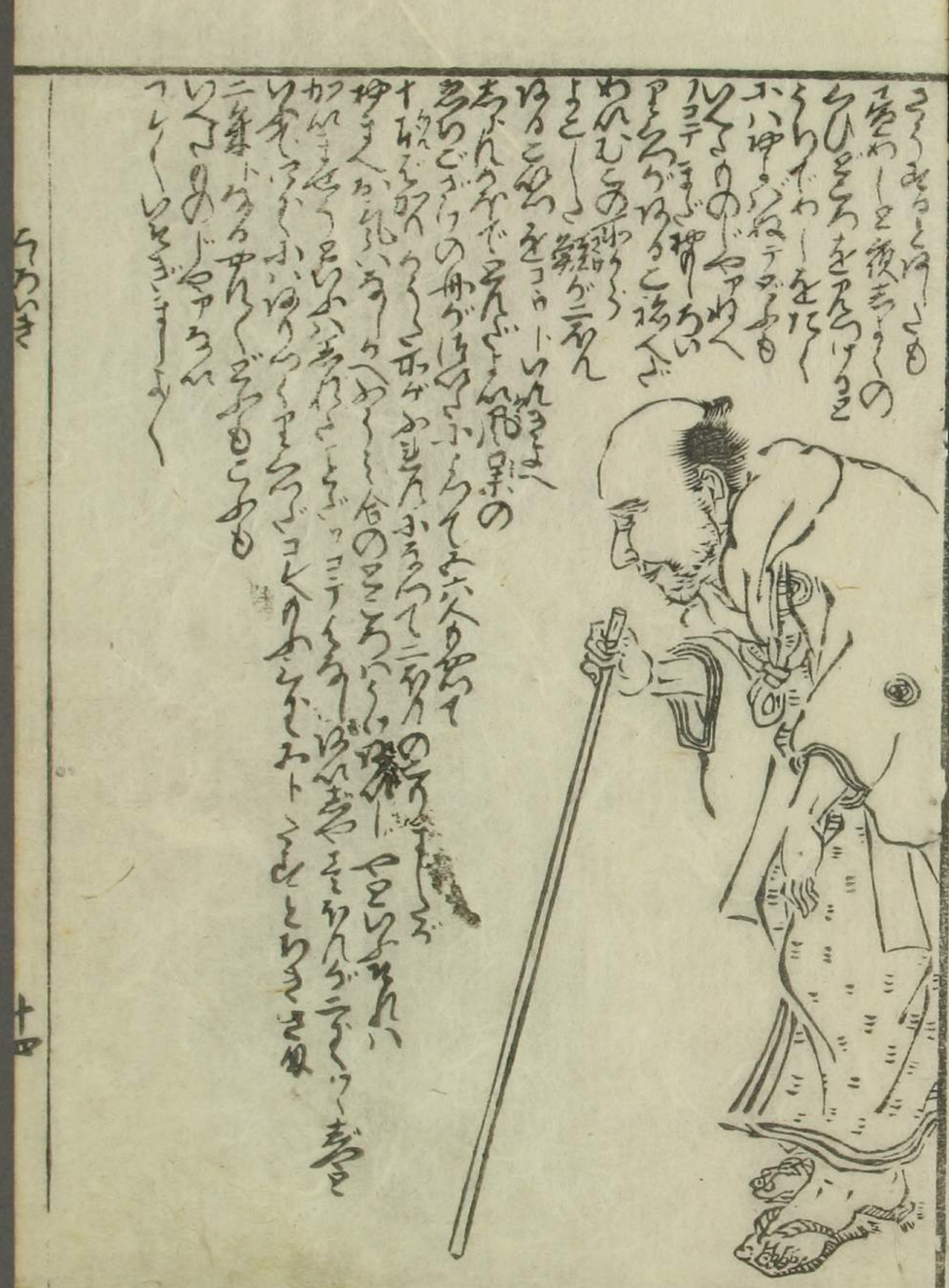
白人怪言のこうはいき

いくらのあい曇
此半丁
東西菴丸人の作

月頭のおろいき

金をたわるくのかいき





御合力のこゝろいき

〽今のひとはきよふなぞつかられ諸人へけいやアこねの
人ア敬えアはやくぐ抄もへバおれるのりア
がれのぞれされといふまれるき
身のうくへぶんづけがさし申
むかうよりあのくられが
こんなおのおかり
おやおかざちかいさて
こざりまらぶざりつの
いひ寿ありんを出まる
こんな神ごひハ
ありくののを今で
かくらうぶむらーし
百両二百アおくさら
ぢぶん出アこみかあれされとずる
さなこゝし出てゝびくさつが
今さやアかんも名こねぶりをしてまる
ありさけ諸人のぶ女たらがえんくさ
今がいゝまぬそいぶりくわいこそんぶす
のでござり人ハくおやどといふのア
ましよふいりでへいりんぶ

作者曰

「いゝぶんぐらむかし今ふうとこで㐂が
つうざうやらへく自分の女房
子供ならぐんりまつ
さまう〳〵

大福長者の心いき

〽マズわたしもきんとほかのりんしやわが
百両ヅヽハのしさらくコウト　おれアよく〳〵
わかいじぶんをゆふるから　ひるけトむかわかハ
アノ二千両のおしまいつけかゝぶつけるから
コレモよし上田の力わたアコチラのおとし
おきをはらつてんでをまもしてやらくヌト
それでゆるのせ八ばかりのおきが
つぶらし七な木のふるからこれを
ほれあかふりこれふ一らおアコウ
アすうてたんとぞんびんをしめ
まづらくれもし卜卸れもいん居
れくハ小八三千両の屋しきをとを敷卜
出てみたこんなれはり抑しかい
ふしうとくらしとんおめでたくかん
ましたかれハ
大やく長者じや
めでたし〳〵

作者のてらいき

春扇画 東里山人戯作

文化十甲戌春新板繪双紙目録

天竺本行經 唐土西遊記 日本猿源氏 **三國怪猿傳** 全部 十二冊 山東京傳作 歌川豊國画

四つ屋 飛蛸 累 **會談三組盃** 全部 六冊 山東京傳作 勝川春扇画

類蛸女傳

柳屋於柳 細腰傳奇 **赤前垂稲園護** 全部 六冊 山東京山作 歌川國直画

雲と花 新柳 **葉櫻姫卯月物語** 全部 六冊 東里山人作 勝川春扇画

亀毛浮世ハ **元陽意記** 全部 三冊 東里山人作 勝川春扇画

お房が手前まき屋繁蔵 **團七縞夏浴衣** 全部 六冊 東西庵南北作 勝川春扇画

巳鳴鐘男道成寺 全部 六冊 曲亭馬琴作 歌川豊國画

江戸芝神明前 繪双帋問屋 和泉屋市兵衛 壽梓

目録ノ通りの品出板賣ひ申候間相かわらず御市評判よろしくお願ひ奉ります